

(3) 環境・市民生活

《施策別成果動向一覧》

節	番号	施策名	成果動向	まちづくり指標の推移						成果指標の推移							
				対基準値			対前年度			対基準値				対前年度			
				改善	横ばい・維持	悪化	改善	横ばい・維持	悪化	改善	横ばい・維持	悪化	比較不可	改善	横ばい・維持	悪化	比較不可
環境保全	18	空気がきれいで住みやすい環境を保全する	順調でない	1	0	1	0	0	2	6	1	2	0	4	2	3	0
	19	生活排水を適切に処理する	順調	1	0	0	0	0	1	4	0	0	0	3	0	1	0
ごみ処理	20	まちの環境美化を推進する	順調	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0
	21	ごみの減量化とリサイクルを推進する	順調	1	0	1	2	0	0	3	0	2	0	1	0	4	0
防災	22	市民と市が一体となって災害に備える	横ばい	1	0	0	0	0	1	6	0	0	0	2	1	3	0
交通安全・防犯	23	交通事故や犯罪のない安全で安心なまちをつくる	順調	1	0	0	1	0	0	4	0	0	0	1	0	3	0
消防・救急	24	消防・救急体制を充実させる	順調	1	0	0	0	0	1	3	0	1	0	3	1	0	0

《まちづくり評価委員会の評価》

「環境・市民生活」分野では、まちづくり指標等の動向から判断して、施策の成果動向は、「順調」が5施策、「横ばい」が1施策、「順調でない」が1施策となり、分野全体の成果動向は、「順調」であると評価する。

環境改善は進んでいるものの、依然として市民の降下ばいじんに対する意識が高いことから、市全体の取り組みだけでなく、緑地の増加や支援等の地域ごとへの対応も検討する必要がある。

また、ごみの減量も順調に進んでおり、ごみ袋の無料配布やその取り組みに対するフォローアップ等の成果が表れていると考える。

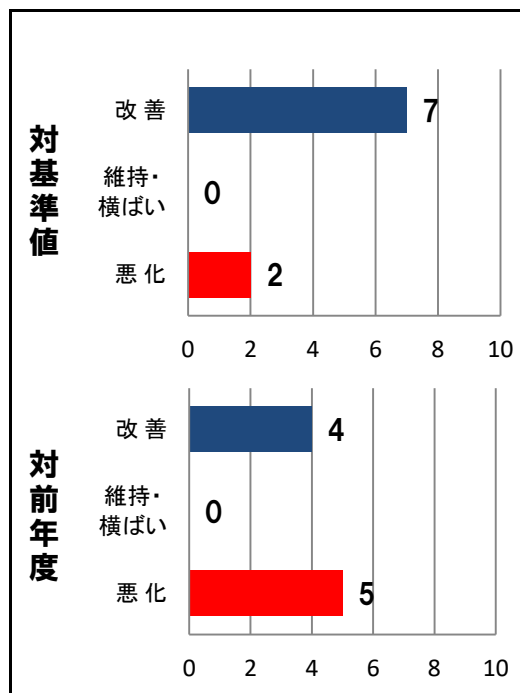
[施策18] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調でない」であると評価する。

[施策19～21] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調」であると評価する。

[施策22] まちづくり指標、成果指標の動向から「横ばい」であると評価する。

[施策23・24] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調」であると評価する。

《まちづくり指標の状況》



〔10年後めざそう値を達成した指標〕

0030	地域内にごみのポイ捨てが目立つと感じている人の割合
0032	市民一人当たりのごみの総量
0034	交通事故や犯罪の不安がなく、安全に安心して生活できていると思う人の割合

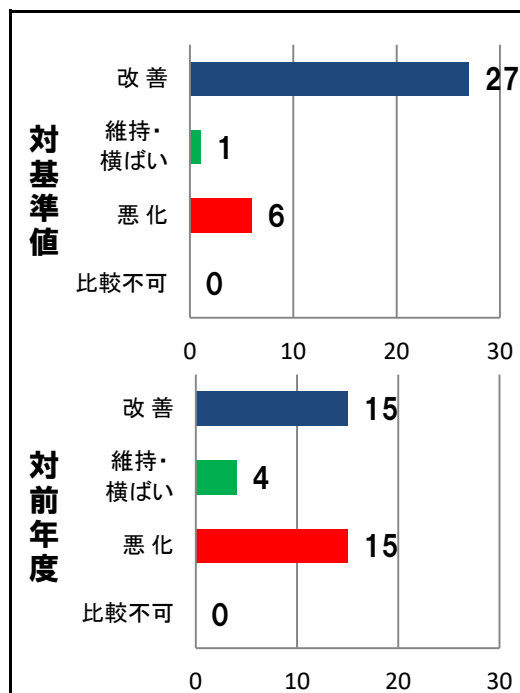
〔基準値と比較して改善した主な指標〕

0029	市内の川の水がきれいであると感じている人の割合
0033	地域、市などが連携し、災害時に備えていると思う人の割合

〔基準値と比較して悪化した指標〕

0027	大気汚染などにより、日常生活に支障があると感じている人の割合
0031	ごみ減量、リサイクルを心がけている人の割合

《成果指標の状況》



〔基準値と比較して改善した主な指標〕

1831	太陽光発電システムの累計設置件数
1921	土留木川のBOD濃度
2021	道路などのごみの回収量
2411	高齢者の防火指導件数

〔基準値と比較して悪化した主な指標〕

1812	降下ばいじんにより、生活に支障があると感じている人の割合
2011	地域の清掃活動に参加した人数
2112	この1年間でフリーマーケットに行ったことのある人の割合
2114	市民一人当たりの資源回収量

《第3章「環境・市民生活」指標の状況》

【まちづくり指標】「地域内にごみのポイ捨てが目立つと感じている人の割合」はじめ3指標が10年後めざそう値（R5(2023)）を達成したほか、「市内の川の水がきれいであると感じている人の割合」など、基準値と比較して7指標、分野全体で77.8%が改善した。

一方、基準値以下となった指標は「大気汚染などにより、日常生活に支障があると感じている人の割合」はじめ2指標（22.2%）となった。

【成果指標】「太陽光発電システムの累計設置件数」はじめ27指標、分野全体で79.4%が基準値より改善した。また、基準値以下となった指標は「降下ばいじんにより、生活に支障があると感じている人の割合」はじめ6指標（17.6%）となった。

章 03 環境・市民生活

理念 安心

節 01 環境保全

施策 18 空気がきれいであり住みやすい環境を保全する

施策主管課【生活環境課】

めざすまちの姿

大気汚染、ばいじん、悪臭がなく、空気がきれいである

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

常時、大気汚染の状況を監視するとともに、市民、事業者などと協力して、環境への負荷の少ないライフスタイルの実践や省エネ型機器・低公害車などへの切替え、再生可能エネルギーの一層の活用を図り、大気汚染の改善に努めます。
また、生活から発生する騒音や悪臭の発生抑制に向けた啓発と事業所からの発生要因の低減に努めるとともに、さまざまな事業所と協力して市南西部を中心に降下ばいじんの削減に取り組めます。これらの環境問題や環境に対する関心を高めるとともに、身近な自然の大切さを理解させる教育と学習の機会を充実し、環境保全活動の推進に努めます。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	きれいな空気を守る	26,937	26,049
02	悪臭・騒音の発生を抑制する	1,352	891
03	再生可能エネルギーを活用する	69,958	47,918
04	環境教育を推進する	924	764
施策合計		99,171	75,622

まちづくり指標の分析

No	0027	大気汚染などにより、日常生活に支障があると感じている人の割合	No	0028	降下ばいじんの量
方向性	➡		方向性	➡	
対基準値:9.8ポイント増／基準値からの推移:× 10年後めざそう値達成率:-196.0% 年齢別:差異有、職業別:差異無、地区別:差異有 要因:大気汚染への関心が高いと考える子育て世代及び市南西部地区の割合が高い。			対基準値:0.2t/km²減／基準値からの推移:○ 10年後めざそう値達成率:33.3% 要因:臨海部企業が実施する降下ばいじん対策に一定の効果が出ているものとする。市内平均と比べ市南西部地区の量が多い。		

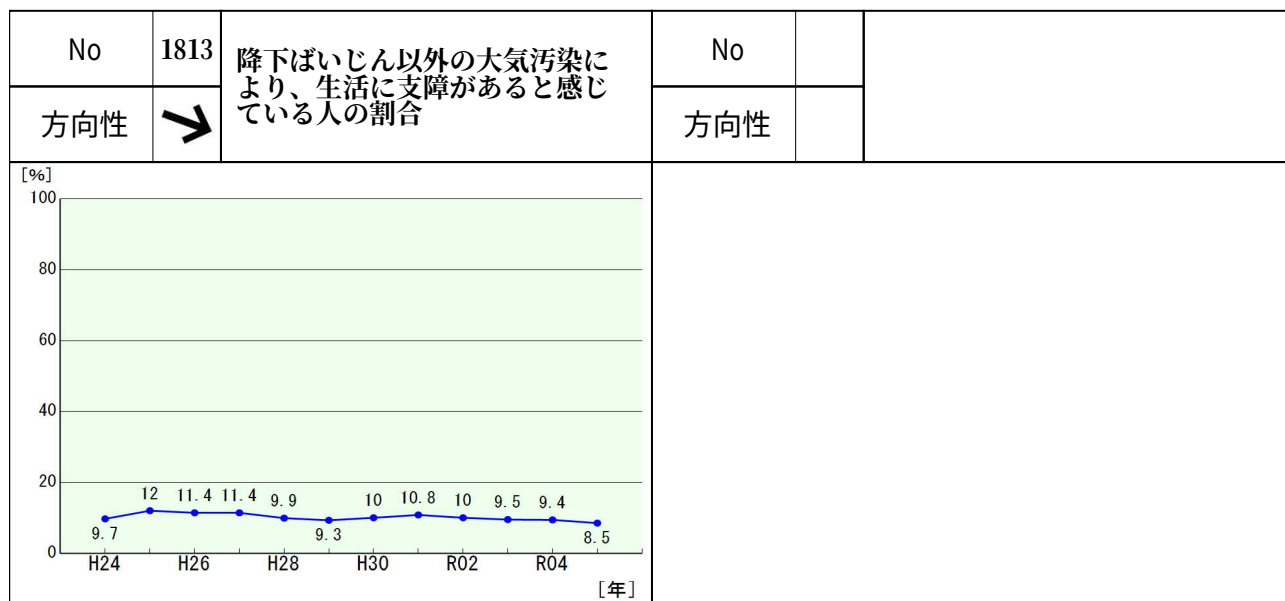
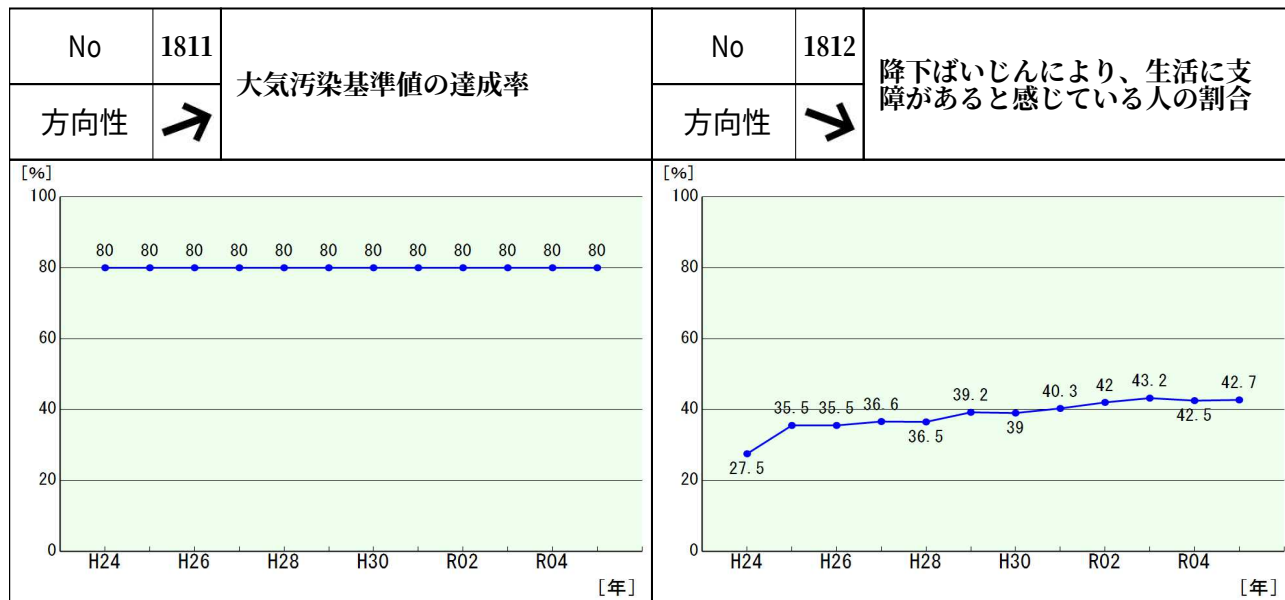
めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

「日常生活に支障があると感じている人の割合」は基準値から悪化し、「降下ばいじんの量」はめざそう値達成率が33.3%であることから、施策は順調に進展しなかった。
臨海部企業では降下ばいじん対策が進められており、「降下ばいじんの量」はわずかに減少傾向にあるが、市民の実感を改善する量とはなっておらず、一方で環境意識の高まりにより、支障を感じる人の割合が増加しているものとする。
7次計画では、降下ばいじんが市内平均と比べ多い市南西部の数値改善に向けて調査研究を進めるとともに、引き続き事業所に対し効果的な対策を要望していく。また、市民の降下ばいじんに対する不安を軽減するため、正確な情報を市民にわかりやすく公表していく。

施策 18 空気がきれいいて住みやすい環境を保全する
単位施策 01 きれいな空気を守る

単位施策主管課【生活環境課】

成果指標の推移



単位施策の評価

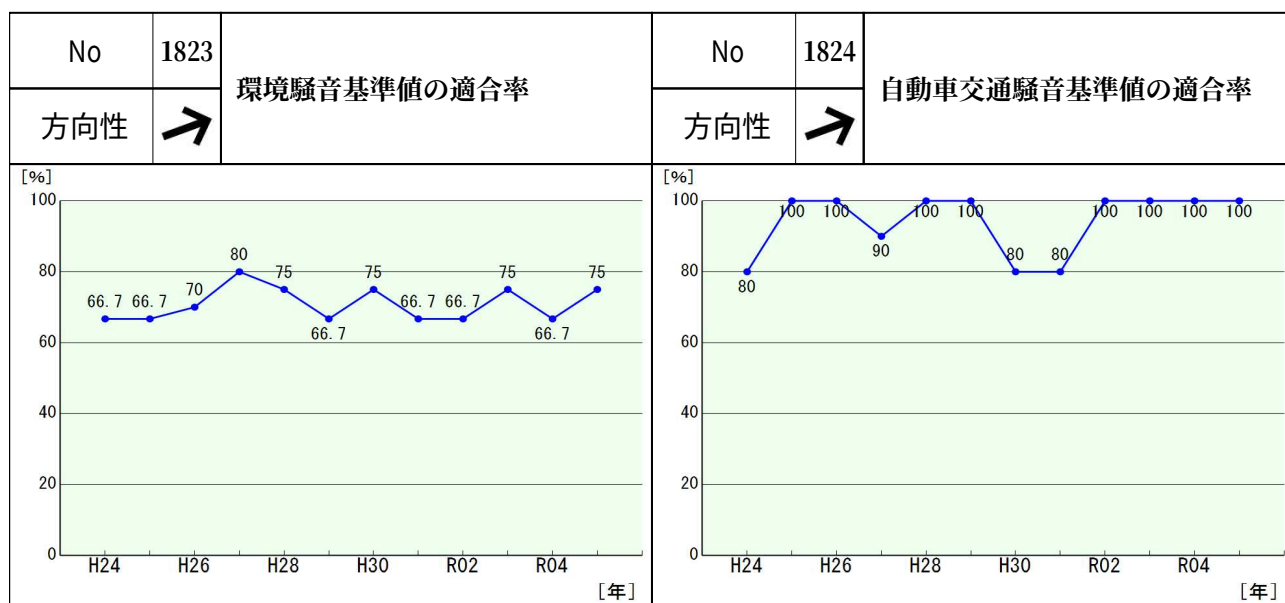
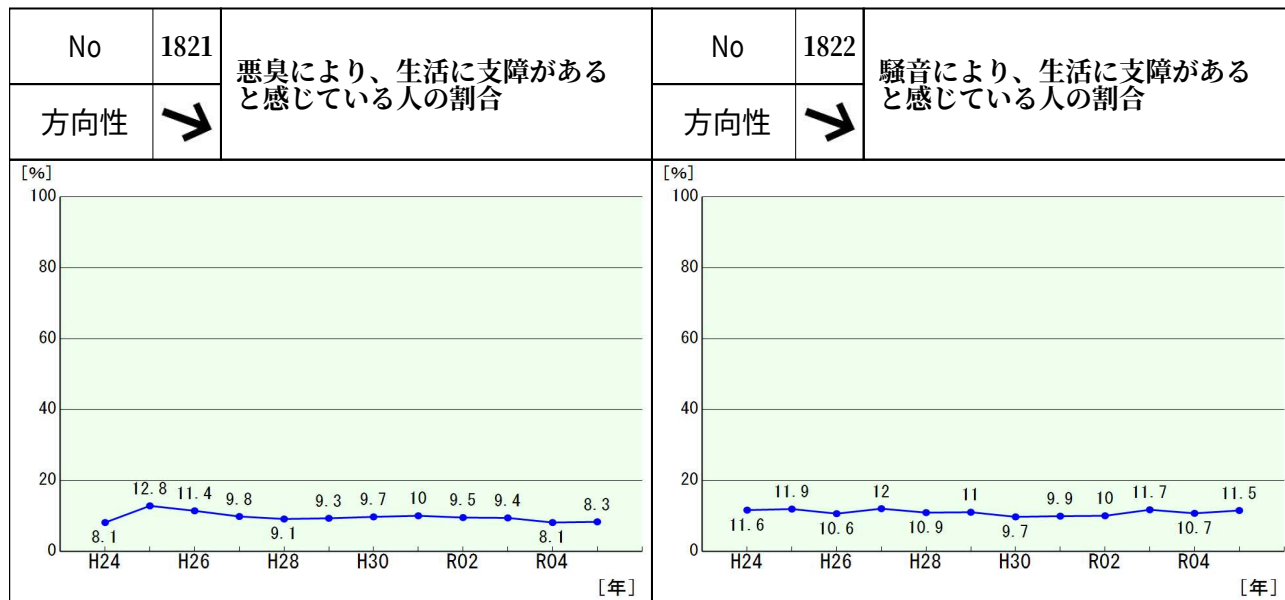
成果指標は対基準値で改善、横ばい、悪化となっているが、「降下ばいじんにより生活の支障があると感じる人の割合」が大きく悪化しており、単位施策は一部順調に進展していない。降下ばいじん量は減少しているが、市民にとって改善したとの実感に結びついていないこと及び降下ばいじんの関心が高まっていることが原因であると考え。

7次計画では、引き続き県や事業所と情報共有を図りつつ、より効果的な対策の実施を事業所に要望し、市民の実感に結びつくよう降下ばいじんを低減させる取り組みを進めていくとともに、市民の降下ばいじんに対する不安を軽減するために、降下ばいじんに係る正確な情報を市民にわかりやすく公表していく。

施策 18 空気がきれいに住みやすい環境を保全する
単位施策 02 悪臭・騒音の発生を抑制する

単位施策主管課【生活環境課】

成果指標の推移



単位施策の評価

成果指標4指標のうち2指標が基準値から改善しており、残り2指標も基準値に近い数値であることから、単位施策は概ね順調に進展した。

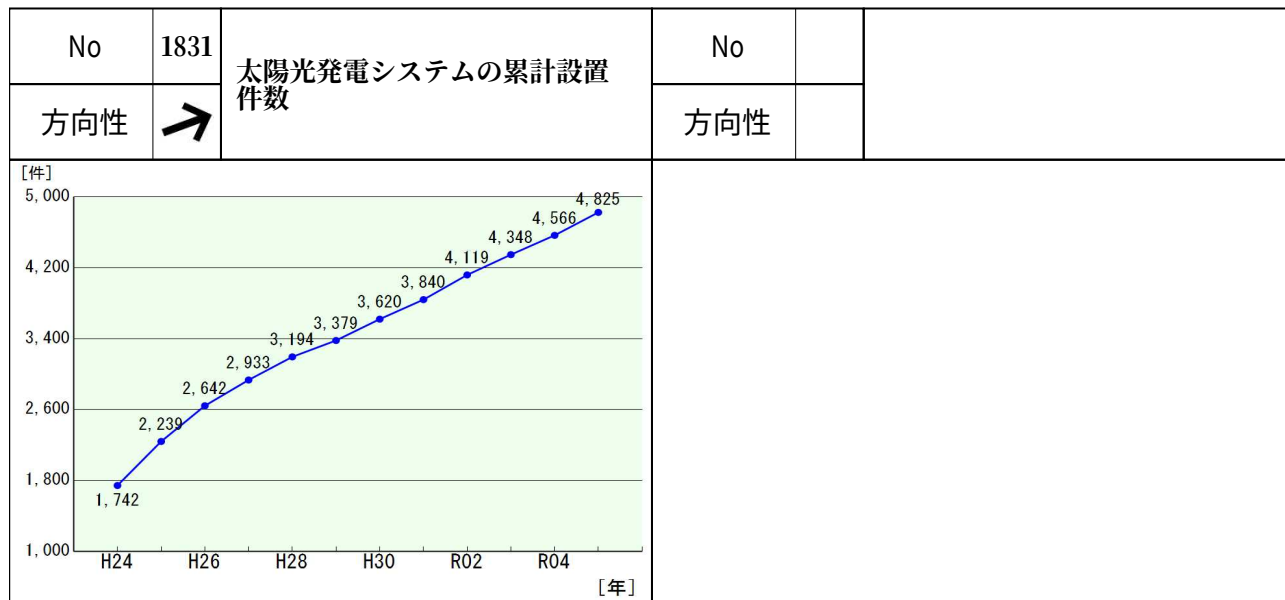
悪臭や騒音について、工場等への立入調査などの監視を実施するとともに、苦情があった際には、できるだけ早く現地確認を実施するなど原因究明に努め、原因者が判明した際には指導等を行ってきたことから、成果指標が向上したと考える。

7次計画では、引き続き悪臭や騒音を発生させる工場等への立入調査などの監視を続けるとともに、発生源の特定などの分析を行い、発生源が判明した場合に適切な指導を行っていく。また、数値が悪い地域に重点をおいて、生活マナー向上などの啓発活動を実施していく。

施策 18 空気がきれいに住みやすい環境を保全する
単位施策 03 再生可能エネルギーを活用する

単位施策主管課【生活環境課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

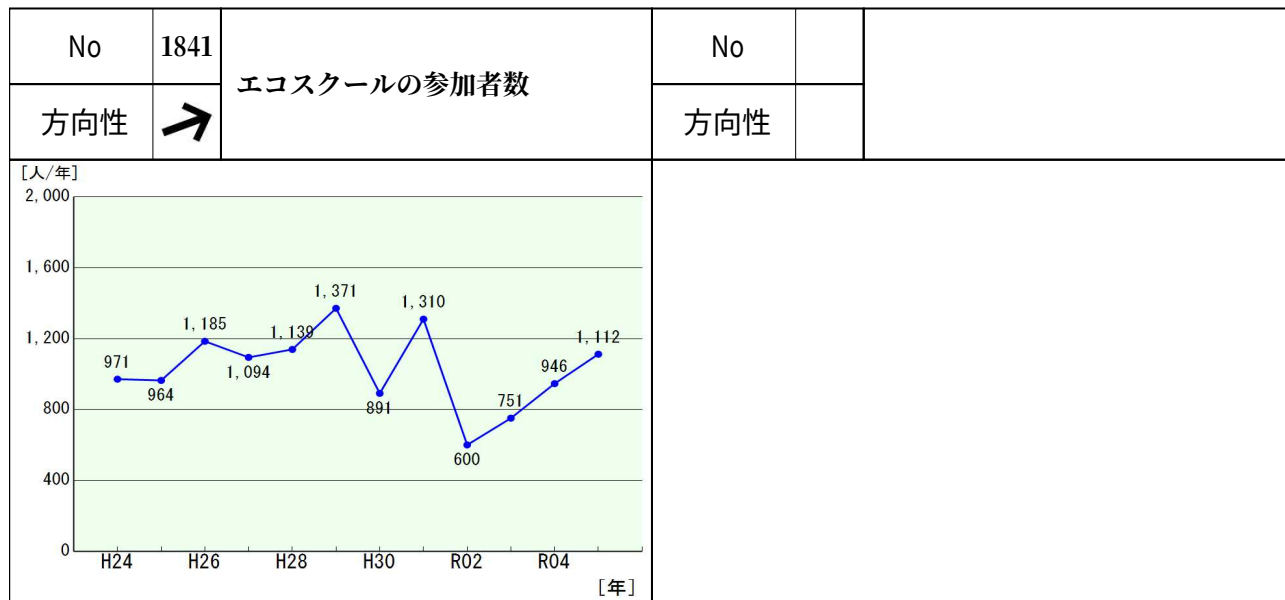
単位施策の評価

成果指標は基準値から向上しており、単位施策は順調に進展した。
 成果指標は、再生可能エネルギーに対する認知度が高まってきているとともに、エネルギー価格の高騰に伴い省エネに対する意識が向上していること、及び住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助事業を実施してきたことなどにより基準値から3,083件増加した。
 7次計画では、新たな太陽光発電システム設置者の拡大を図るとともに、太陽光パネルの法定耐用年数（17年）を迎えるシステム設置者が増加すると見込まれるため、適切な更新を促すことで、市民や事業者の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組を支援していく。

施策 18 空気がきれいいて住みやすい環境を保全する
単位施策 04 環境教育を推進する

単位施策主管課【生活環境課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標は年度で増減があるが基準値から改善しており、単位施策は概ね順調に進展した。
「エコスクールの参加者数」は、周年記念イベント、植栽会などを実施することで大幅に増加するが、近年は、これらのイベント等が無くても、既存の講座を着実に開催するとともに、温暖化対策講座などの新規講座の実施、水生生物の自然観察などの人気講座の開催頻度を多くするなどの取り組みにより、参加者数の増加につなげている。
7次計画では、引き続きSDGs、地球温暖化対策など、世界全体で取り組みが進められている内容の新規講座をより一層開催するとともに、人気がある講座を増やす取り組みを行うことで、参加者数の増加及び環境学習による啓発活動を進展させていく。

章	03 環境・市民生活	理念	安心
節	01 環境保全		
施策	19 生活排水を適切に処理する		
施策主管課【都市計画課】			

めざすまちの姿

下水道が整備され、生活排水が適切に処理されて、川や海などの水がきれいである

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

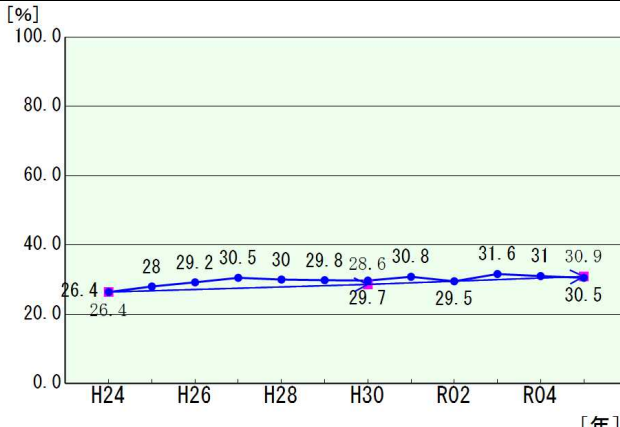
下水道の整備を進めて、処理区域の拡大を図るとともに、普及・啓発を行うなど、下水道接続率を高めます。
河川や浄化センターからの放流水の定期的な測定を行い、水質を監視します。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	下水道を整備して汚水进行处理する	1,103,778	1,076,091
02	水質を監視する	1,430	1,364
施策合計		1,105,208	1,077,455

まちづくり指標の分析

No	0029	市内の川の水がきれいであると 感じている人の割合	No																																
方向性	➔		方向性																																
[%] <table border="1"><thead><tr><th>年</th><th>割合 [%]</th></tr></thead><tbody><tr><td>H24</td><td>26.4</td></tr><tr><td>H26</td><td>28</td></tr><tr><td>H28</td><td>29.2</td></tr><tr><td>H30</td><td>30.5</td></tr><tr><td>R02</td><td>30</td></tr><tr><td>R04</td><td>29.8</td></tr><tr><td></td><td>28.6</td></tr><tr><td></td><td>29.7</td></tr><tr><td></td><td>30.8</td></tr><tr><td></td><td>29.5</td></tr><tr><td></td><td>31.6</td></tr><tr><td></td><td>31</td></tr><tr><td></td><td>30.9</td></tr><tr><td></td><td>30.5</td></tr></tbody></table> [年]			年	割合 [%]	H24	26.4	H26	28	H28	29.2	H30	30.5	R02	30	R04	29.8		28.6		29.7		30.8		29.5		31.6		31		30.9		30.5			
年	割合 [%]																																		
H24	26.4																																		
H26	28																																		
H28	29.2																																		
H30	30.5																																		
R02	30																																		
R04	29.8																																		
	28.6																																		
	29.7																																		
	30.8																																		
	29.5																																		
	31.6																																		
	31																																		
	30.9																																		
	30.5																																		
対基準値:4.1ポイント増／基準値からの推移:○ 10年後めざそう値達成率:91.1% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有 要因:下水道建設等の環境整備が増加に影響している と考える。																																			

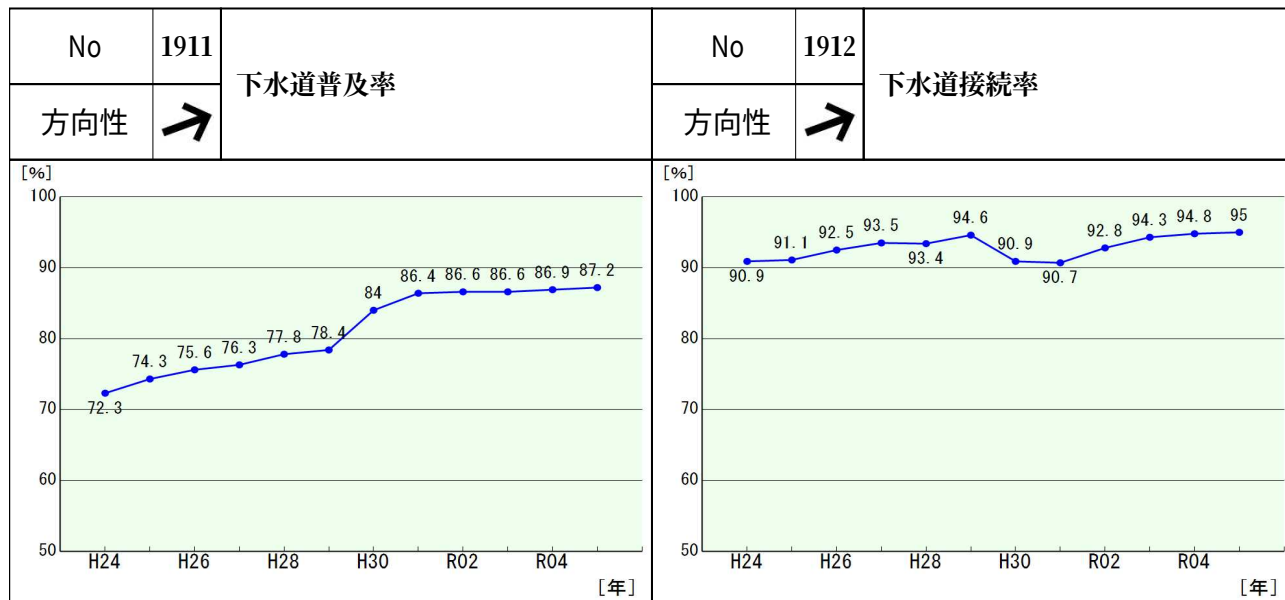
めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

「市内の川の水がきれいと感じている人の割合」は、めざそう値達成率が91.1%であったことから、施策は概ね順調に進展した。
下水道の面整備工事の進捗に伴い、汚水管への接続率が向上したことが影響したと考える。
7次計画では、汚水の適切な処理や汚水管整備率の向上を図り、衛生的な生活環境の保全を目指していく。

施策 19 生活排水を適切に処理する
単位施策 01 下水道を整備して汚水进行处理する

単位施策主管課【都市計画課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

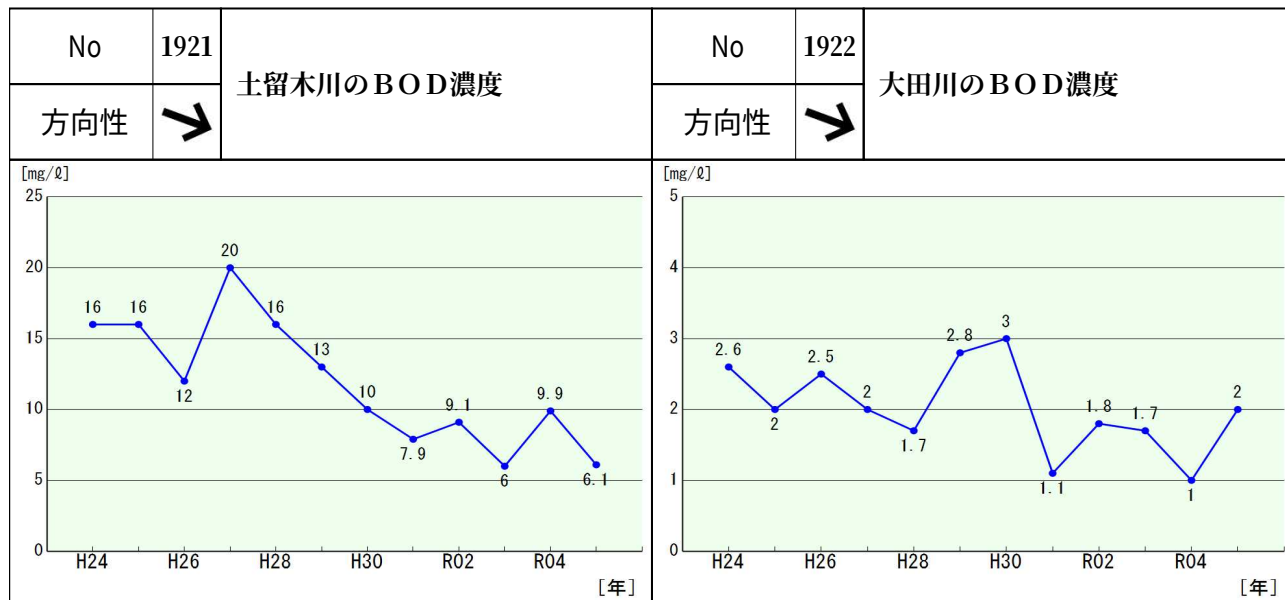
単位施策の評価

成果指標が2指標とも基準値から改善しており、単位施策は順調に進展した。
「下水道普及率」は、基準値から14.9ポイント向上している。これは、下水道面整備等による本管工事等が進んだこと、及び加木屋町北社山地区（民間開発事業）の完了に伴うものが要因と考える。また、「下水道接続率」も、基準値から4.1ポイント向上している。これは、下水道に接続できる区域内において、下水道整備工事にあわせて行った啓発活動により、市民の意識が高まり、下水道への接続が進んだことが要因と考える。
7次計画では、下水道整備を進めるとともに、下水道接続率向上のため助成事業及びその啓発活動を継続していく。

施策 19 生活排水を適切に処理する
単位施策 02 水質を監視する

単位施策主管課【生活環境課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標は、2指標とも基準値から改善し、単位施策は順調に進展した。

「大田川のBOD濃度」は、早くから下水道が整備されていたことや、市民の環境意識の向上等により、良好な数値を維持することができたと考える。また、「土留木川のBOD濃度」は、土留木川周辺の下水道整備の進展により、徐々に水質改善が進んでいると考える。

6次計画期間の傾向から、生活排水の河川への流入を減少させることが河川の水質の向上に寄与すると考えるため、7次計画では、下水道を整備するとともに、より一層の下水道接続率の向上を図るため、下水道供用開始区域の市民への啓発を進めていく。

章 03 環境・市民生活
 節 02 ごみ処理
 施策 20 まちの環境美化を推進する

理念 快適

施策主管課【生活環境課】

めざすまちの姿

まちにごみが落ちていない

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

市民や事業者の取り組みにより、生活環境を守っていく意識を高めるとともに、ごみのポイ捨てや不法投棄、放置自動車などをなくすことに努めます。
 また、地域の清掃活動など、環境美化への取り組みを支援します。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	まちをきれいにする	3,667	3,533
02	不法投棄を抑制する	158	70
施策合計		3,825	3,603

まちづくり指標の分析

No	0030	地域内にごみのポイ捨てが目立つと感じている人の割合	No																
方向性	➡		方向性																
[年] <table><thead><tr><th>年</th><th>割合（％）</th></tr></thead><tbody><tr><td>H24</td><td>58.3</td></tr><tr><td>H26</td><td>55.3</td></tr><tr><td>H28</td><td>51.4</td></tr><tr><td>H30</td><td>52.5</td></tr><tr><td>R02</td><td>50.5</td></tr><tr><td>R04</td><td>50.2</td></tr></tbody></table> [年]			年	割合（％）	H24	58.3	H26	55.3	H28	51.4	H30	52.5	R02	50.5	R04	50.2			
年	割合（％）																		
H24	58.3																		
H26	55.3																		
H28	51.4																		
H30	52.5																		
R02	50.5																		
R04	50.2																		
対基準値:11.4ポイント減／基準値からの推移:○ 10年後めざそう値達成率:137.3% 年齢別:差異有、職業別:差異無、地区別:差異有 要因:道路などのごみの回収量が減少していることから、ごみのポイ捨て量が減少していると考え。																			

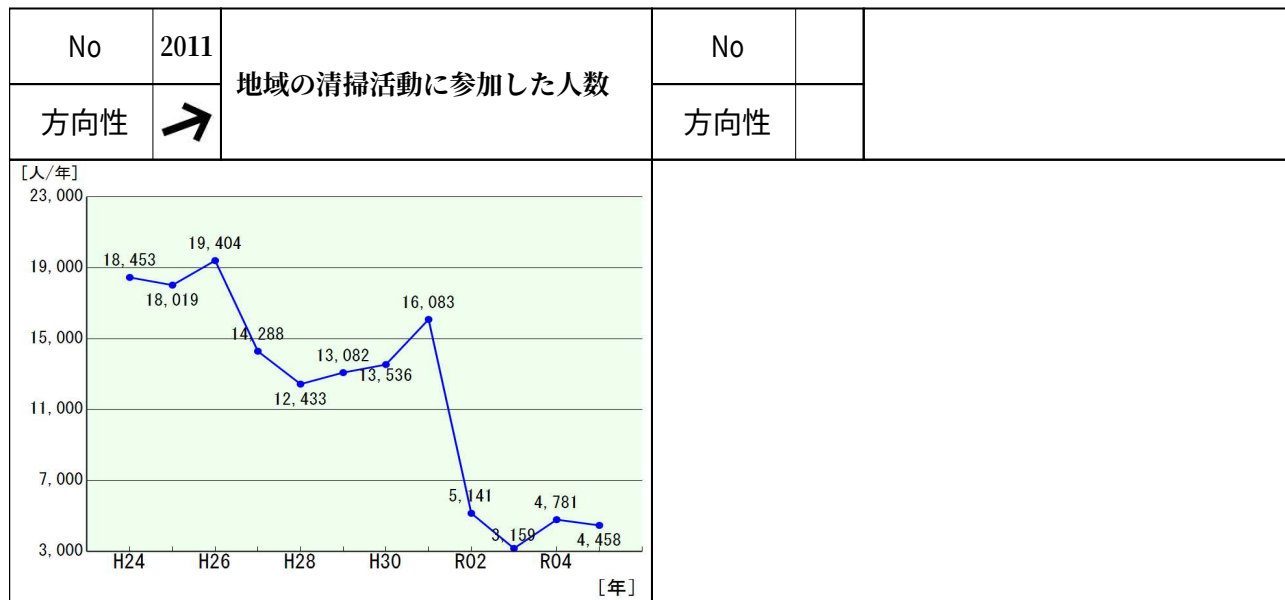
めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

「地域内にごみのポイ捨てが目立つと感じている人の割合」はめざそう値を達成し、施策は順調に進展した。
 「道路などのごみの回収量」が順調に減少していることから、市民の環境美化意識の高まりにより、ごみの不法投棄やポイ捨てが減少したことが要因と考える。
 7次計画では、引き続き清掃パトロールを実施するとともに、地域清掃活動への参加や一人一人の環境美化への意識向上を図るための啓発活動に取り組んでいく。

施策 20 まちの環境美化を推進する
単位施策 01 まちをきれいにする

単位施策主管課【生活環境課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

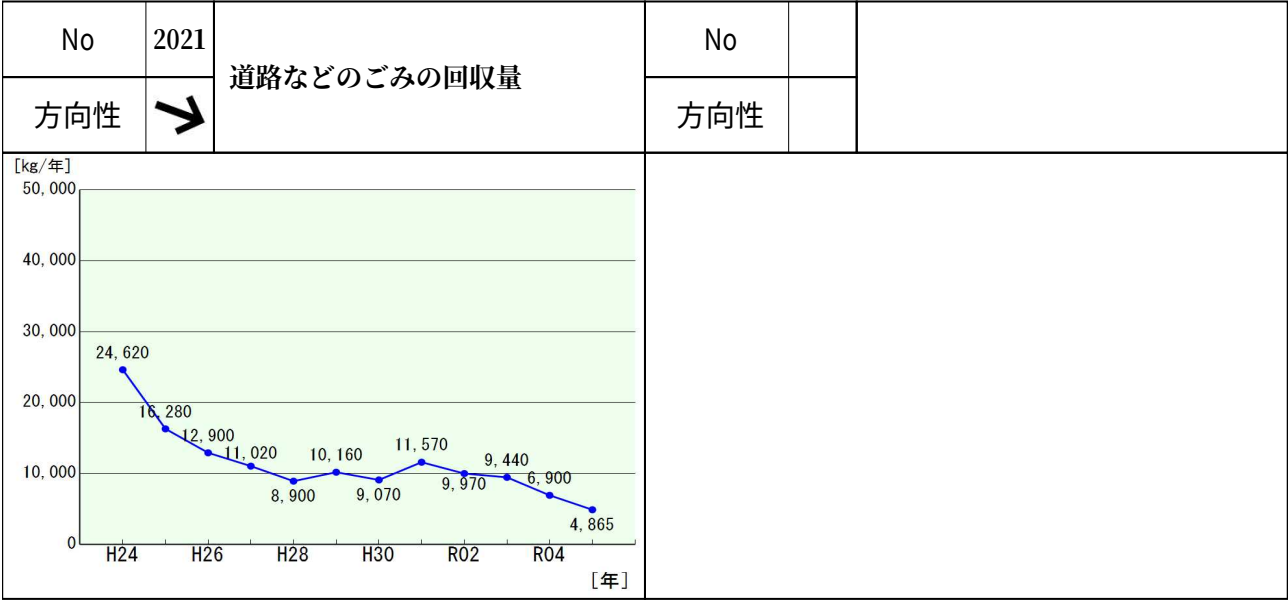
単位施策の評価

成果指標は基準値より13,995人減少しており、単位施策は順調に進展しなかった。
「地域清掃活動に参加した人数」は、これまでコミュニティ、町内会・自治会、事業者、団体等が継続してきた清掃活動の取り組みがコロナ禍で縮小したことで、活動団体が4割程減少するとともに、市民の参加意識が減少したと考える。
7次計画では、地域清掃活動に併せ、日頃から一人一人が清掃活動を通して環境美化に意識が高まるように啓発活動の取り組みを進めていく。

施策 20 まちの環境美化を推進する
単位施策 02 不法投棄を抑制する

単位施策主管課【生活環境課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標は基準値から19,755kg改善しており、単位施策は順調に進展した。
継続的に清掃パトロールを行って市内道路のごみの散乱を防ぐことにより、市民の環境問題
やリサイクルへの意識の向上につながり、不法投棄やポイ捨てが減少したものとする。
7次計画では、放置自動車や放置自転車の増加を防ぐために、市内道路などのパトロールを継
続するとともに、ごみの不法投棄やポイ捨ての一層の削減を図るため、環境美化意識の向上に
関する啓発活動を推進していく。

章 03 環境・市民生活
節 02 ごみ処理

理念 快適

施策 21 ごみの減量化とリサイクルを推進する

施策主管課【リサイクル推進課】

めざすまちの姿

ごみの減量化やリサイクルが進んでいる

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

循環型社会の形成を目指すため、市民、事業者などとの役割分担と協働による3R活動を進めます。

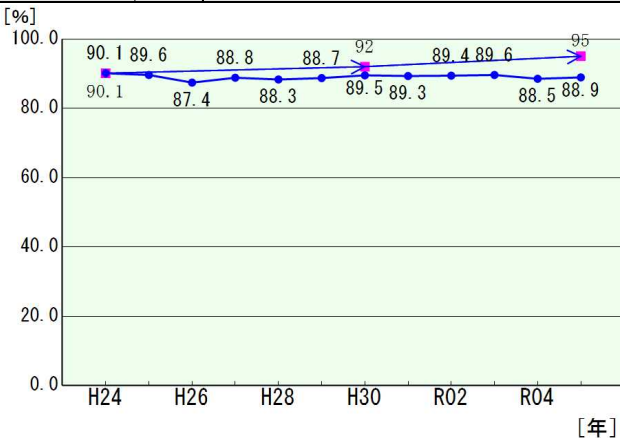
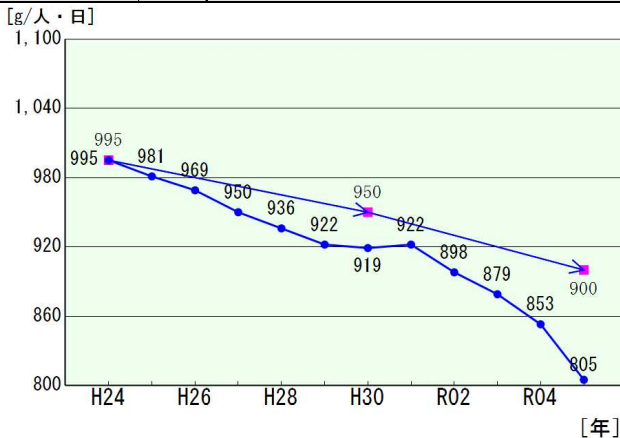
また、ごみの適正な収集、一般廃棄物のごみ処理施設と最終処分場の適切な管理運営による施設の延命を図るとともに、新しい一般廃棄物処理施設などの整備を進めます。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	3R活動を推進する	281,841	280,141
02	ごみを適切に処分する	2,242,568	2,199,717
施策合計		2,524,409	2,479,858

まちづくり指標の分析

No	0031	ごみ減量、リサイクルを心がけている人の割合	No	0032	市民一人当たりのごみの総量
方向性	➡		方向性	➡	
					
対基準値:1.2ポイント減／基準値からの推移:△ 10年後めざそう値達成率:-24.5% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有 要因:年齢別は20代以下、職業別は学生が低く、若年層の意識が低いと考える。			対基準値:190g減／基準値からの推移:○ 10年後めざそう値達成率:200.0% 要因:モノ消費からコト消費への変化等価値観の多様化、事業者の木材リサイクルの増加によりごみの減量が進んだと考える。		

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

「ごみ減量、リサイクルを心がけている人の割合」は基準値よりも低下しているが、「市民一人当たりのごみの総量」はめざそう値達成率が200.0%だったことから、施策は概ね順調に進展した。

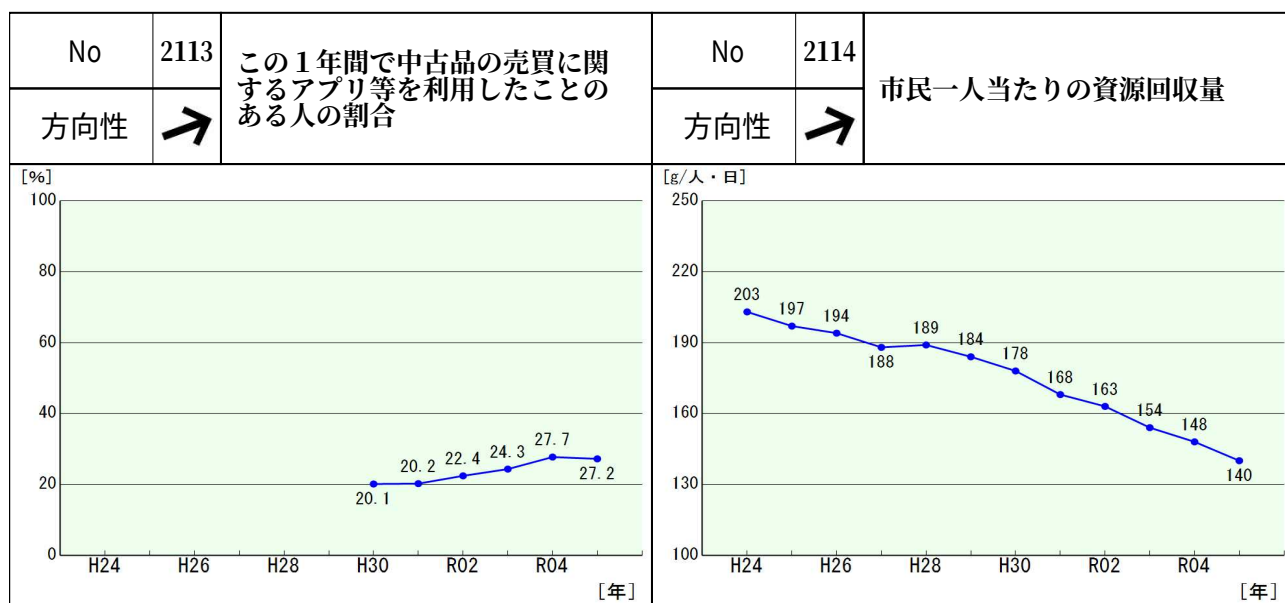
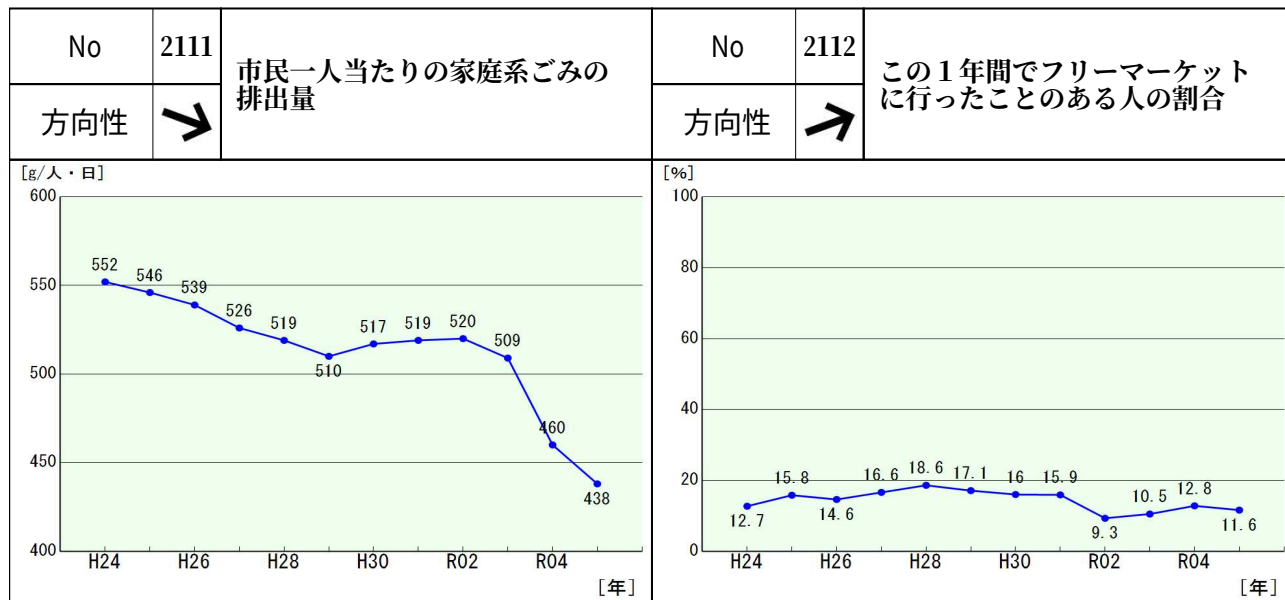
「市民一人当たりのごみの総量」は、物価の高騰により物品の更新機会が減っていることやリユース市場の拡大により中古品を売買する人が増えていることが、数値の改善につながっているものと考え。

7次計画では、引き続き、広報紙や東海市公式LINEアカウント等を活用し普及啓発活動を推進するとともに、ごみの減量化とリサイクルの取り組みを継続していく。

施策 21 ごみの減量化とリサイクルを推進する
単位施策 01 3 R活動を推進する

単位施策主管課【リサイクル推進課】

成果指標の推移



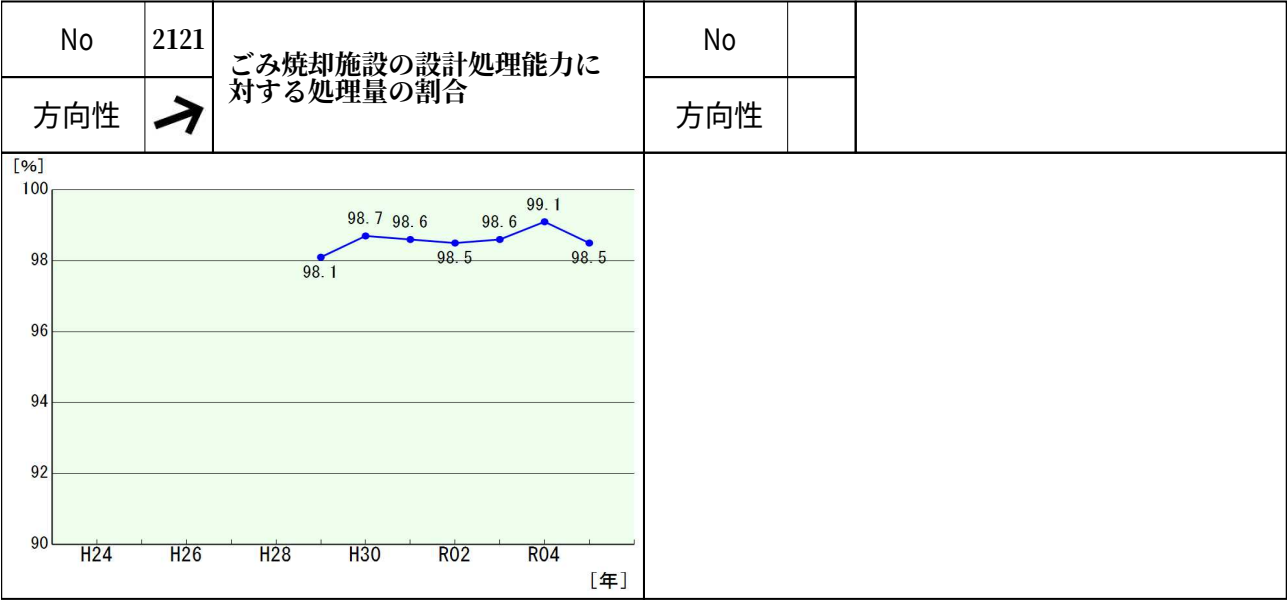
単位施策の評価

成果指標4指標のうち2指標が基準値から向上しており、単位施策は概ね順調に進展した。
「この1年間で中古品の売買に関するアプリ等を利用したことのある人の割合」は、基準値から7.1ポイント向上しており、継続実施している3 Rの啓発活動による効果と考える。また「市民一人当たりの資源回収量」は、基準値から114g低下しており、新聞紙等の購読数減少や容器包装の軽量化が原因であると考ええる。
7次計画では、引き続き、広報紙や東海市公式LINEアカウント等を活用し、ごみ減量とリサイクルの普及に向けた啓発活動を推進していく。

施策 21 ごみの減量化とリサイクルを推進する
単位施策 02 ごみを適切に処分する

単位施策主管課【リサイクル推進課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標が基準値から向上しており、単位施策は順調に進展した。
「ごみ焼却施設の設計処理能力に対する処理量の割合」については、基準値を下回ることなく、毎年98.0%以上の高い割合を継続維持できた。これは、ごみ焼却施設の設備は老朽化しているものの、日常点検等の実施と計画的な補修ができていたことによるものと考ええる。
本市のごみ焼却施設の稼働は令和5年度で終了し、今後は西知多医療厚生組合が運営する西知多クリーンセンターがごみを適切に処理していく。

章 03 環境・市民生活

理念 安心

節 03 防災

施策 22 市民と市が一体となって災害に備える

施策主管課【防災危機管理課】

めざすまちの姿

市、関係機関、地域、NPOなどが連携し、災害時に機能できるように備えている

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

「自らの命は自分で守る」自助の精神に立って、防災に対する正しい知識と危機意識を持ち、家庭、地域、学校、企業などにおいて、災害への備えを十分にしておくことが重要です。
また、「自分たちのまちは自分たちで守る」ため、共助の精神を醸成し、地域による災害対応力の向上を図る必要があります。

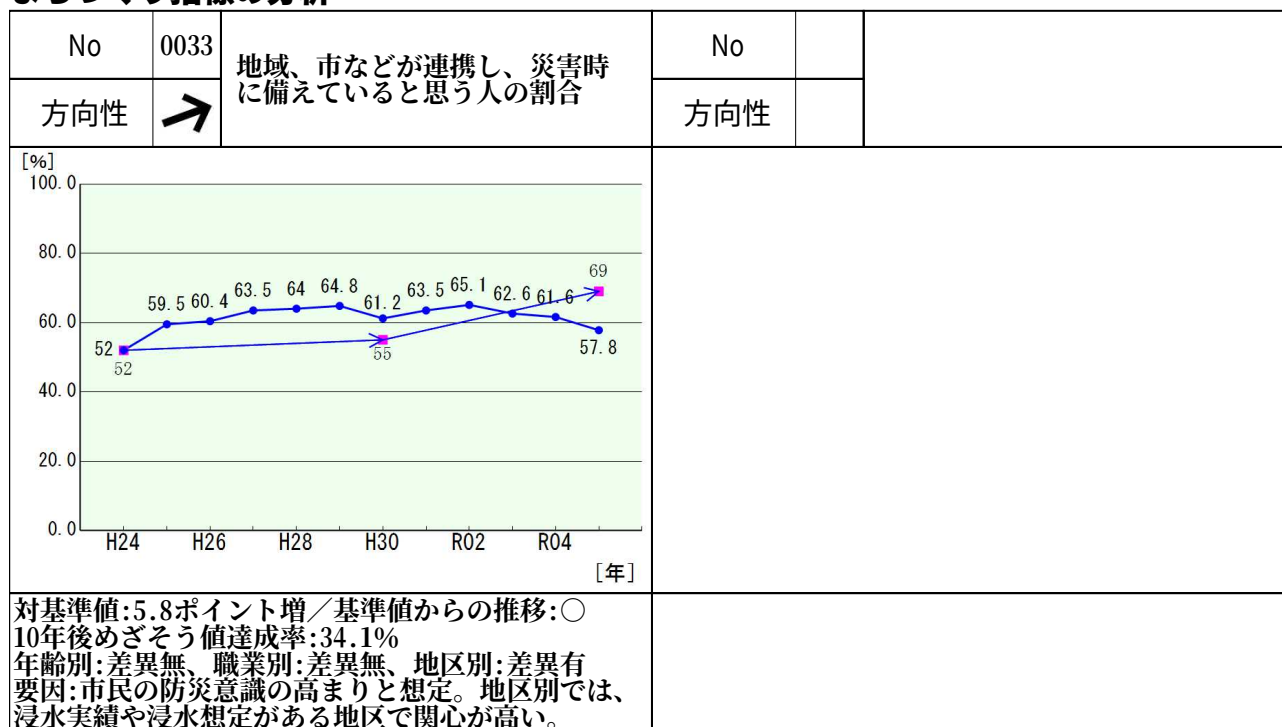
そのため、災害に強いまちづくりを目指して施設などの整備を進めるとともに、市民などの防災に関する取り組みの支援と防災体制の強化に努めます。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	市民の防災力を向上させる	88,624	83,312
02	防災体制を強化する	883,841	770,531
03	地域と市の連携を強化する	2,572	2,086
施策合計		975,037	855,929

まちづくり指標の分析



めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

「地域、市などが連携し、災害時に備えていると思う人の割合」はめざそう値達成率が34.1%で、施策は横ばいで推移した。

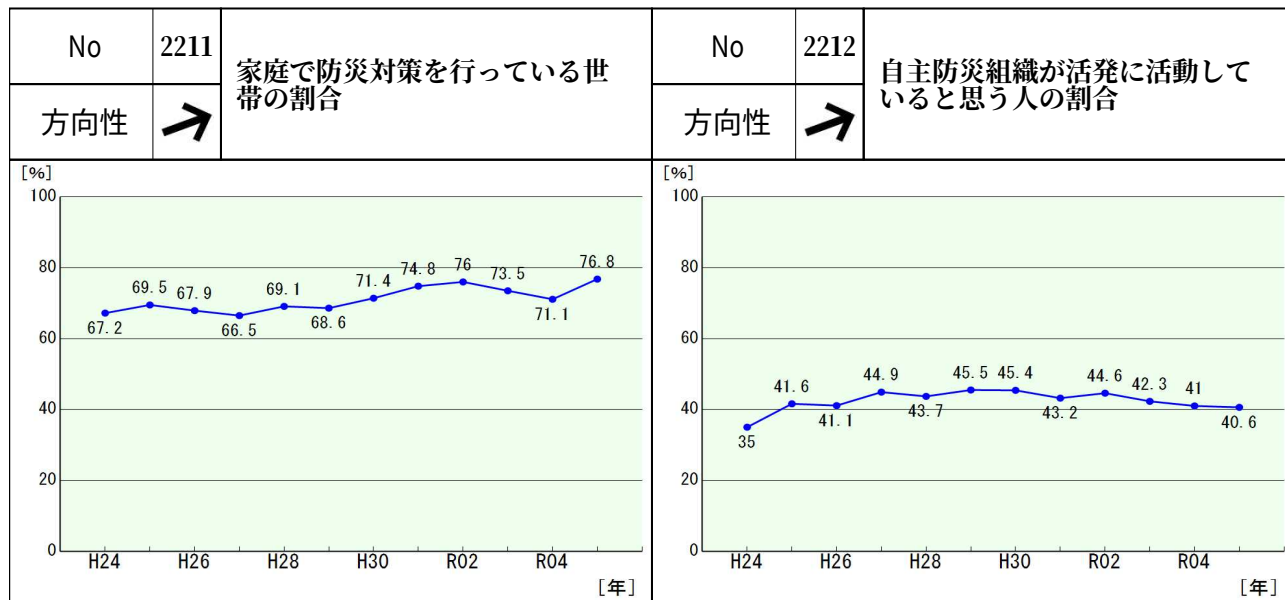
これまで継続的に実施してきた市民の防災意識の高揚を図るための啓発活動により、当指標に関連する成果指標は改善したものの、自主防災組織の活動支援や地域防災リーダーの育成等の取り組みは、十分に市民の実感につながっておらず、指標が近年低下傾向にあると考える。

7次計画では、積極的に地域と関わりながら自主防災組織の活性化に努め、助け合いによる地域の防災力を強化するとともに、適切な避難所運営に向けて備蓄物資の計画的な整備や訓練の支援など防災・減災対策（強靱化）に取り組み、災害に強いまちづくりを進めていく。

施策 22 市民と市が一体となって災害に備える
単位施策 01 市民の防災力を向上させる

単位施策主管課【防災危機管理課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

いずれの成果指標も基準値より改善しており、単位施策は順調に進展した。

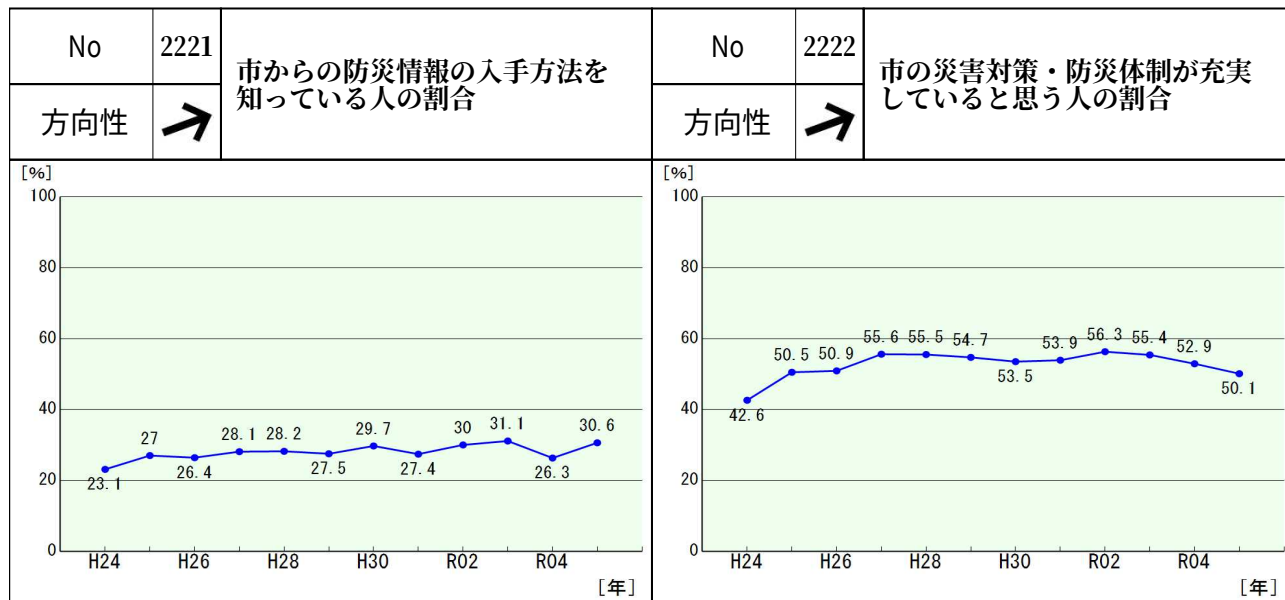
「家庭で防災対策を行っている世帯の割合」については、防災ハンドブックを計画どおり令和4年度に作成し、令和5年度に全戸配布できたことが影響していると考ええる。また「自主防災組織が活発に活動していると思う人の割合」については、地域に根差した地域防災リーダー育成事業等の取り組みが継続実施できていることによるものと考ええる。

7次計画では、防災活動における地域差がないように配慮しながら、地域防災力の向上を図るための訓練を推進していくとともに、様々な情報発信媒体を活用し、市民一人ひとりへの啓発を進めていく。

施策 22 市民と市が一体となって災害に備える
単位施策 02 防災体制を強化する

単位施策主管課【防災危機管理課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

いずれの成果指標も基準値より改善しており、単位施策は順調に進展した。

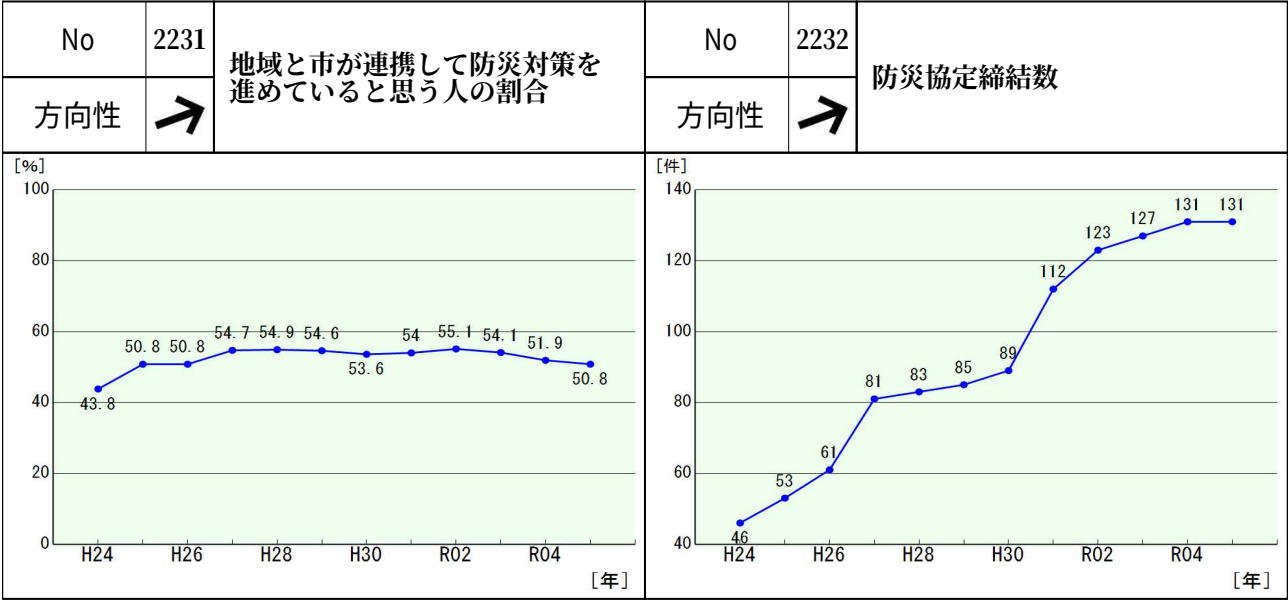
「市からの防災情報の入手方法を知っている人の割合」については、防災ハンドブックを計画どおり令和4年度に作成し、令和5年度に全戸配布できたこと、またメルマガや市公式LINEなど情報発信手段を多様化したことが影響していると考えられる。また「市の災害対策・防災体制が充実していると思う人の割合」については、施設の耐震化や避難所・防災倉庫の改修等、また災害時に必要な資機材や備蓄品が充実してきたことによるものと考えられる。

7次計画では、学校や大学、企業等と連携した防災教育や防災啓発を推進するとともに、地域及び行政の災害対応力の向上を図るため実践的で実効性のある訓練を実施していく。

施策 22 市民と市が一体となって災害に備える
単位施策 03 地域と市の連携を強化する

単位施策主管課【防災危機管理課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

いずれの成果指標も基準値より改善しており、単位施策は順調に進展した。
市内に点在する避難所への防災用資機材の整備や、防災訓練を通じて市民と行政が協働で実施している資機材の取り扱い訓練や避難所設置・運営訓練を着実に進めたことによるものと考ええる。また「防災協定締結数（令和元年度に消防関係など22件分を整理（整理後の基準値57件））」については、前年度から1増1減で件数は横ばいだったものの、新たに広域的な災害救助に必要な物資の調達に関する協定を締結できた。
7次計画では、防災対策や災害対応の実行性を高めるため、地域防災訓練に工夫を加えながら支援に努め、特に指標数値の低い地域においては重点的に連携強化を図っていく。

章	03 環境・市民生活	理念	安心
節	04 交通安全・防犯		
施策	23 交通事故や犯罪のない安全で安心なまちをつくる		
施策主管課【交通防犯課】			

めざすまちの姿

関係機関と地域が連携し、交通事故や犯罪を防いでいる

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

警察、事業者などの関係機関や地域と連携して、交通安全・防犯対策を積極的に展開することにより、交通事故や犯罪発生件数を減少させます。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	交通安全対策を充実させる	66,835	63,061
02	防犯対策を充実させる	67,460	65,547
施策合計		134,295	128,608

まちづくり指標の分析

No	0034	交通事故や犯罪の不安がなく、安全に安心して生活できていると思う人の割合	No		
方向性	➔		方向性		
対基準値:10.7ポイント増／基準値からの推移:○ 10年後めざそう値達成率:184.5% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有 要因:交通、防犯環境は生活に密着した身近な関心事となっており、特に高齢者の割合が高い。					

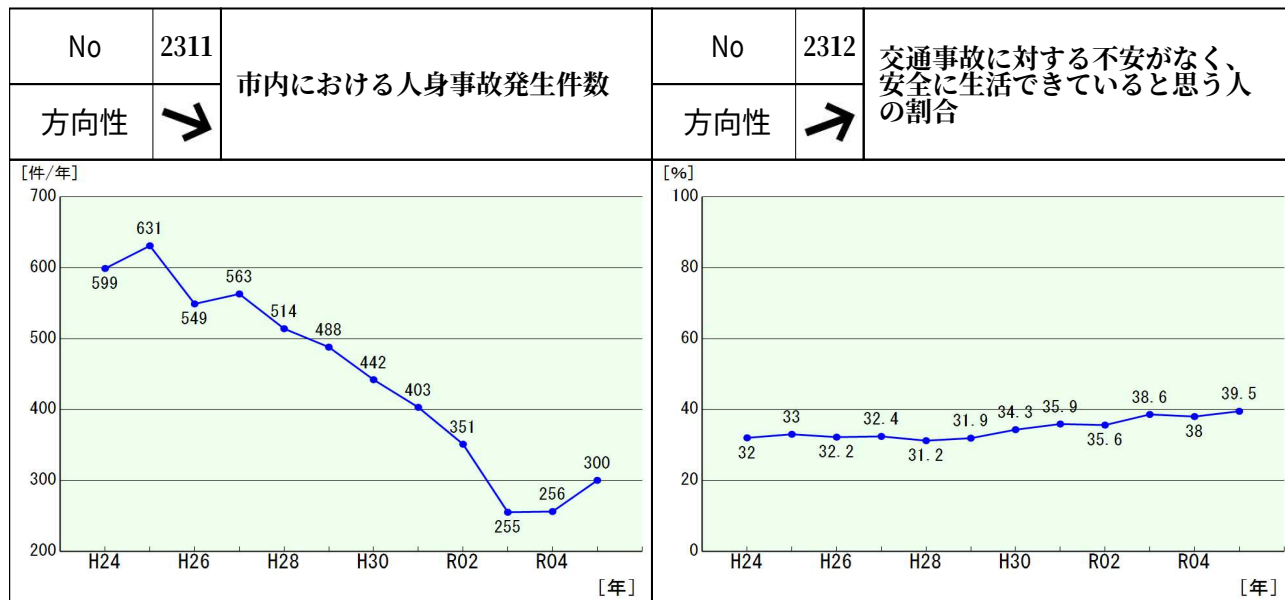
めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

まちづくり指標はめざそう値を達成していることから、施策は順調に進展した。
令和元年度以降、道路照明灯・防犯灯LED化や、市内全域への防犯カメラ設置など、市内交通・防犯環境の大幅な改善に取り組んだことや、行政、警察、地域が一体となって交通事故防止・犯罪抑止策の強化に取り組んだことから、「人身事故発生件数」、「犯罪発生件数」が基準値と比べ大幅に改善していると考え。
7次計画においても、交通事故防止・交通環境の改善に向けた多角的な取り組みに加え、全国的に犯罪が凶悪化・多様化していることから、それらの情勢に合わせた実効的な対策に、警察・地域と一体となって取り組んでいく。

施策 23 交通事故や犯罪のない安全で安心なまちをつくる
単位施策 01 交通安全対策を充実させる

単位施策主管課【交通防犯課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

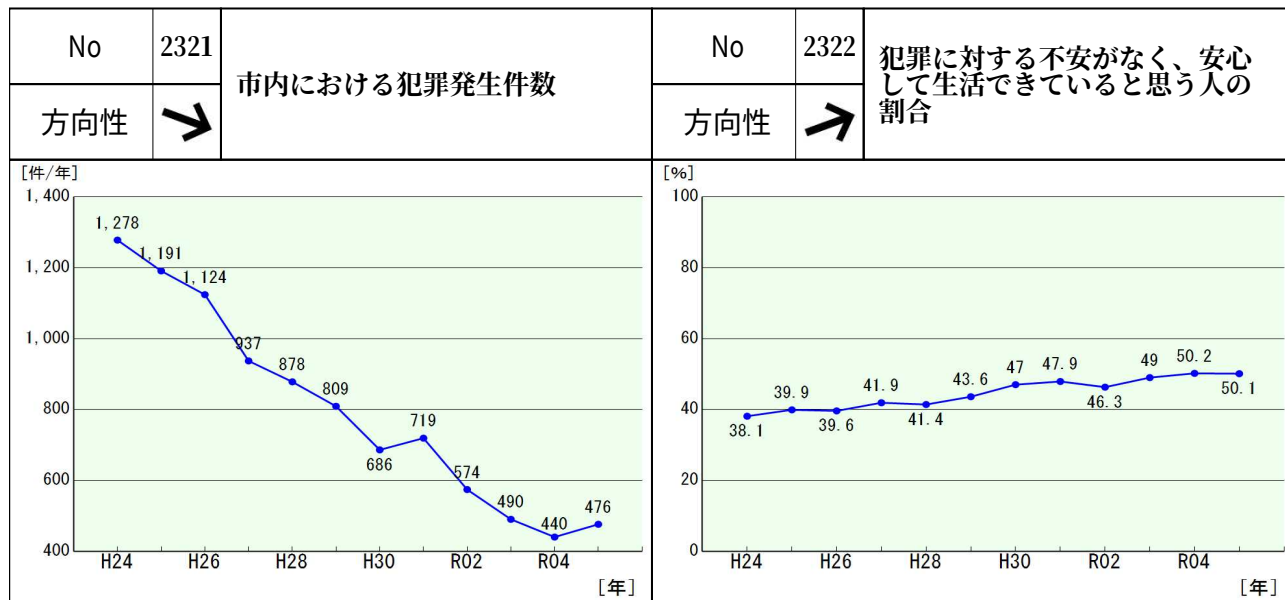
単位施策の評価

成果指標2指標が基準値から順調に向上しており、単位施策は順調に進展した。
「人身事故発生件数」は基準値と比べ大幅に改善している。また「交通事故に対する不安がなく、安全に生活できていると思う人の割合」については基準値と比べ7.5ポイント向上している。近年、安全運転支援装置搭載車両の普及が進んでいること、通学路を含む生活道路等において、ユニット規制、路面標示、標識等の設置が進んでいること、また、運転免許証を自主返納される高齢運転者が増加してきたことも、指標改善に寄与していると考えられる。
7次計画においても、高齢運転者による交通事故防止、自転車や電動キックボード等、モビリティ利用者の広がりに合わせて、法令遵守の意識向上に取り組んでいく。

施策 23 交通事故や犯罪のない安全で安心なまちをつくる
単位施策 02 防犯対策を充実させる

単位施策主管課【交通防犯課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標2指標が基準値から順調に向上しており、単位施策は順調に進展した。
「犯罪発生件数」は基準値から大幅に改善され、「犯罪に対する不安がなく、安心して生活できていると思う人の割合」についても基準値と比べ12.0ポイント向上している。自動車盗や侵入盗等の重点罪種の減少が続いているが、特殊詐欺等の新たな犯罪が増加傾向にある。
7次計画においても、警察によるパトロール強化に加え、市、コミュニティ、市民が一体となって防犯意識を高め、地域の防犯力強化を図り、犯罪発生件数の更なる減少に取り組んでいく。

章 03 環境・市民生活
 節 05 消防・救急
 施策 24 消防・救急体制を充実させる

理念 安心

施策主管課【消防本部】

めざすまちの姿

消防・救急体制が整っている

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

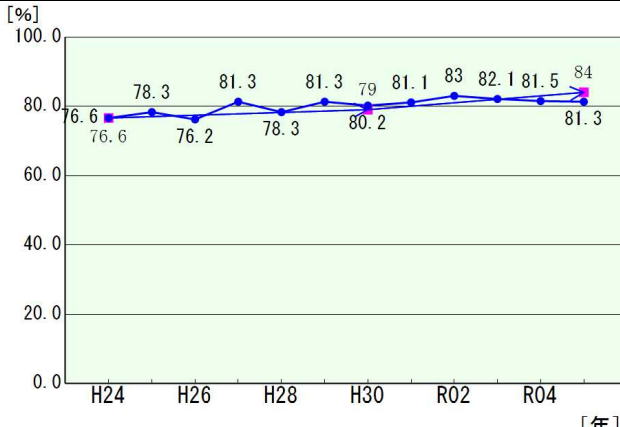
火災などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防体制を強化するとともに、施設などの防火体制の強化や地域全体で火災予防を進めます。また、傷病者の救命率を高めるため、救急体制を強化するとともに、救命技術の普及・啓発を行います。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	消防・防火体制を強化する	362,951	357,635
02	救急・救命体制を強化する	16,269	15,560
施策合計		379,220	373,195

まちづくり指標の分析

No	0035	消防・救急体制が整っていると思う人の割合	No																												
方向性	➔		方向性																												
[%] <table border="1"><thead><tr><th>年</th><th>割合 [%]</th></tr></thead><tbody><tr><td>H24</td><td>76.6</td></tr><tr><td>H25</td><td>78.3</td></tr><tr><td>H26</td><td>76.2</td></tr><tr><td>H27</td><td>81.3</td></tr><tr><td>H28</td><td>78.3</td></tr><tr><td>H29</td><td>81.3</td></tr><tr><td>H30</td><td>79.0</td></tr><tr><td>H31</td><td>81.1</td></tr><tr><td>R02</td><td>83.0</td></tr><tr><td>R03</td><td>82.1</td></tr><tr><td>R04</td><td>81.5</td></tr><tr><td>R05</td><td>84.0</td></tr></tbody></table> [年]			年	割合 [%]	H24	76.6	H25	78.3	H26	76.2	H27	81.3	H28	78.3	H29	81.3	H30	79.0	H31	81.1	R02	83.0	R03	82.1	R04	81.5	R05	84.0			
年	割合 [%]																														
H24	76.6																														
H25	78.3																														
H26	76.2																														
H27	81.3																														
H28	78.3																														
H29	81.3																														
H30	79.0																														
H31	81.1																														
R02	83.0																														
R03	82.1																														
R04	81.5																														
R05	84.0																														
対基準値:4.7ポイント増／基準値からの推移:○ 10年後めざそう値達成率:63.5% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有 要因:全体の住宅用火災警報器の設置率が高い。一方、高齢者の住宅用火災警報器の設置率が低い。																															

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

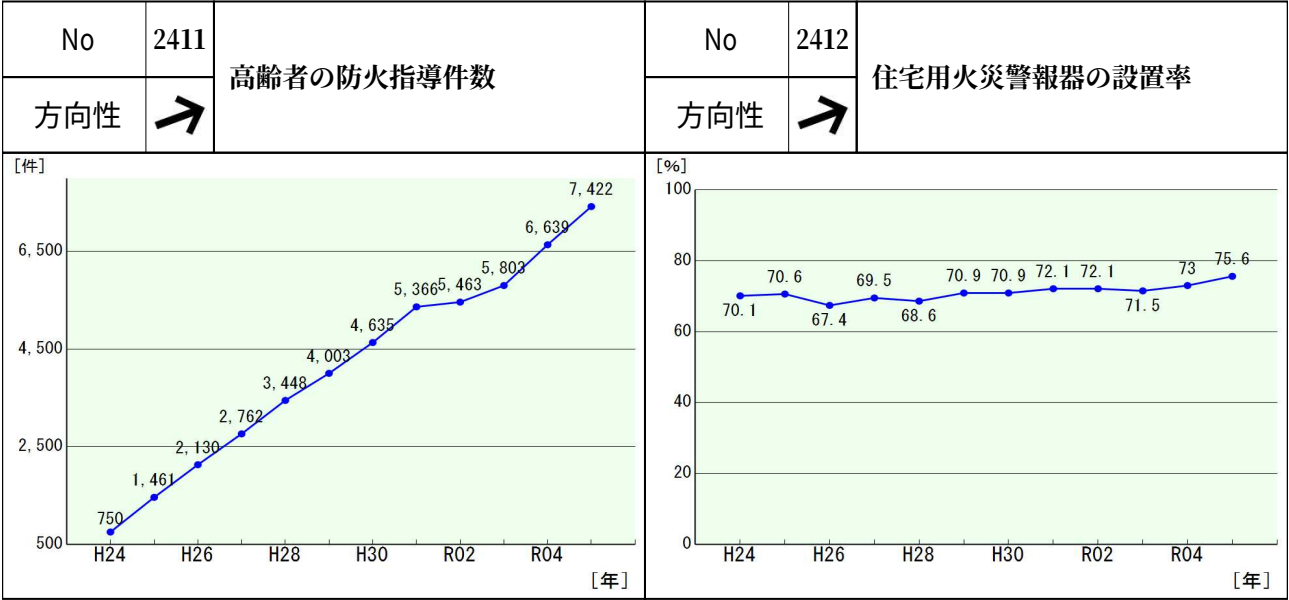
「消防・救急体制が整っていると思う人の割合」は10年後めざそう値達成率が63.5%であったものの、成果指標の4指標中3指標が改善していることから、施策は概ね順調に進展した。「救急隊出場1件当たりの救急救命士の人数」については、救急救命士を継続的に養成しているものの、消防隊長に任命される救急救命士の増加などにより、基準値から低下したが、同水準を維持している。一方、「住宅用火災警報器の設置率」は、住宅用火災警報器の共同購入及び「高齢者の防火指導件数」の増加と連動して改善したものとする。

7次計画では、高齢者世帯への防火指導などの防火対策を推進し、消防職員及び消防団員の教育・訓練を充実させ、消防・救急体制の強化を目指していく。

施策 24 消防・救急体制を充実させる
単位施策 01 消防・防火体制を強化する

単位施策主管課【消防本部】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

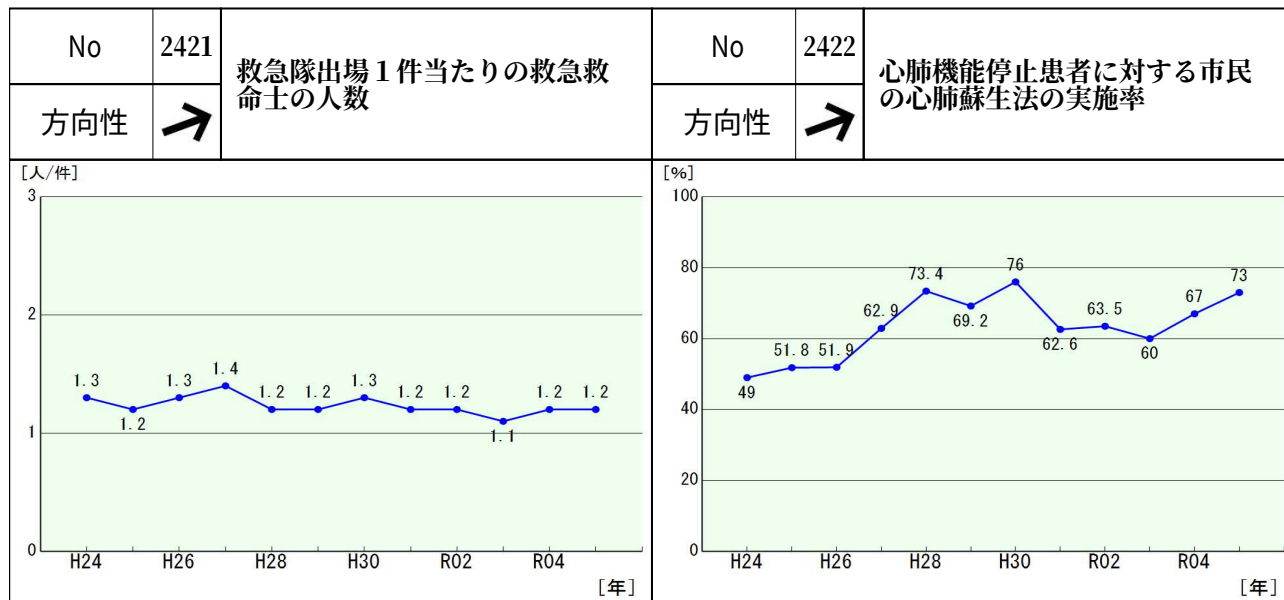
単位施策の評価

成果指標は共に改善し、単位施策は順調に進展した。
 「高齢者の防火指導件数」は平成24年度以降毎年ほぼ同水準の件数を実施しており、加えて住宅用火災警報器の共同購入及び取り付け支援を高齢者の防火指導と連携して行ったことによると考える。
 火災件数は減少傾向にあるが、市民の生命を直接的に脅かす住宅火災の割合は横ばいであり、火災による高齢者の死者の割合は増加傾向にある。7次計画では、コミュニティと連携した高齢者の防火指導を行うとともに、住宅用火災警報器の共同購入及び取り付け支援、設置から経年した機器の更新や電池交換等の啓発等を行っていく。

施策 24 消防・救急体制を充実させる
単位施策 02 救急・救命体制を強化する

単位施策主管課【消防本部】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標のうち1つは基準値から向上しており、単位施策は概ね順調に進展した。
「市民の心肺蘇生法の実施率」については、コロナ禍により市民が感染に敏感となったことで一時的に減少したものの、救命講習等の継続的な普及活動により市民の救命意識が向上したものとする。「救急隊出場1件当たりの救急救命士の人数」は、救急救命士を継続的に養成しているものの、消防隊長に任命される救急救命士の増加などにより、基準値から低下したが、同水準を維持している。
7次計画では救急救命士を計画的に養成するとともに、市民の救命意識の向上のために救命講習を積極的に実施していく。